

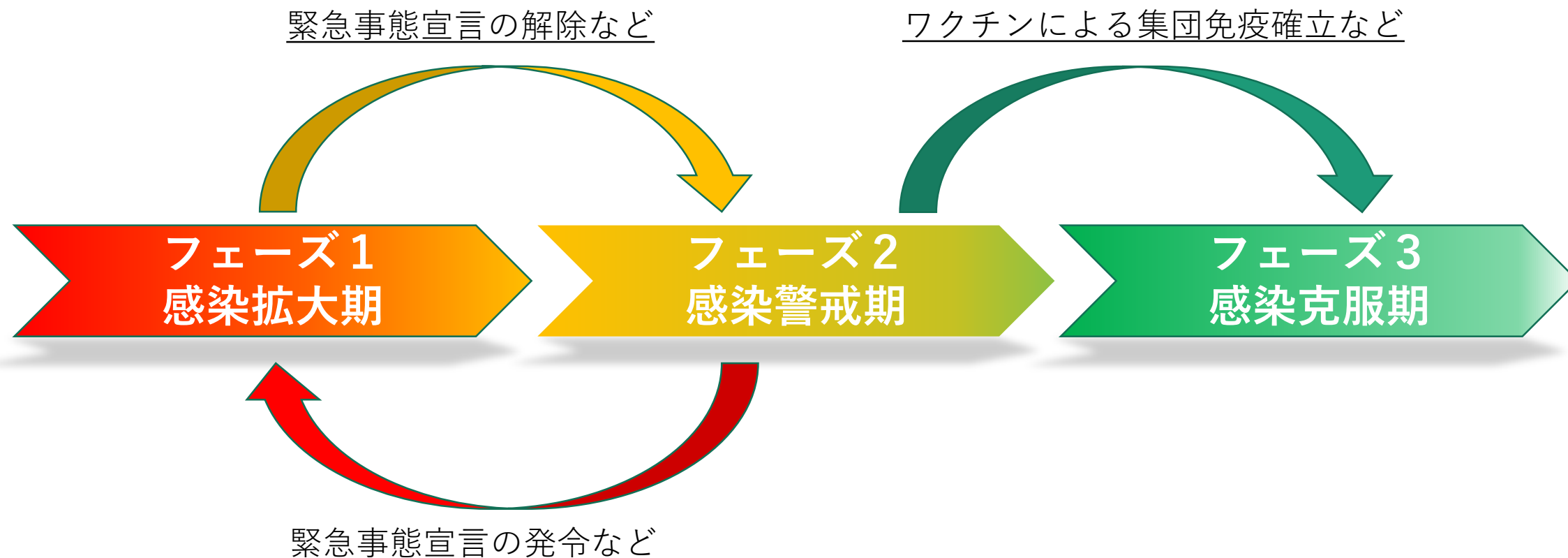
神戸市withコロナ対応戦略

(骨子案)

令和2年6月10日

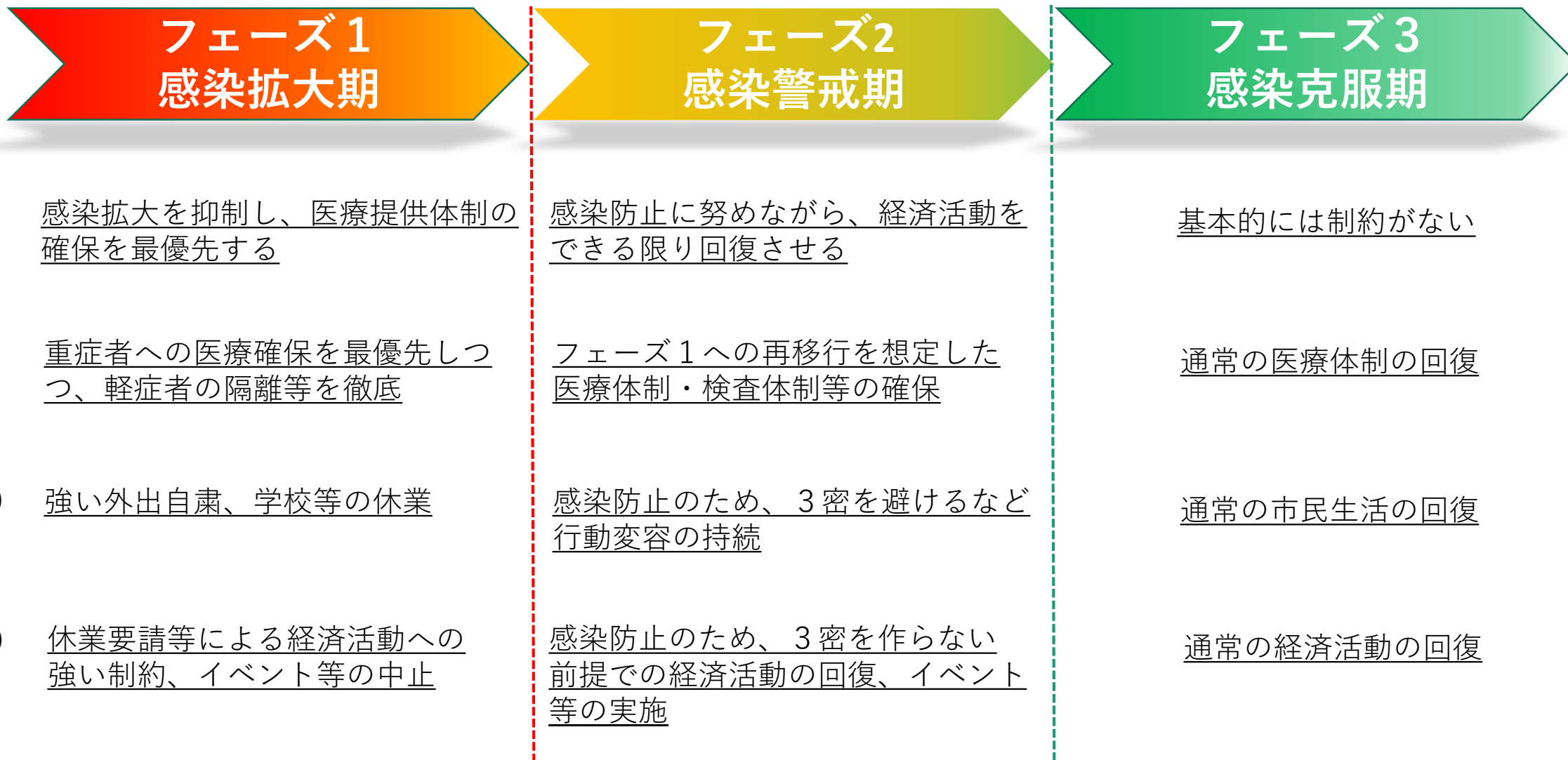
- ◆ 令和2年5月25日、政府の緊急事態宣言は解除されましたが、今回の新型コロナウイルス感染症は、「再度の感染拡大（次なる波）」が予想され、長丁場の対応が必要になると見込まれています。
(参考) 政府専門家会議による新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（令和2年5月29日）
- ◆ このため、この感染症の存在を前提にした「withコロナ」の時代が今後、年単位の期間で継続することを覚悟しなければなりません。
- ◆ このような認識のもと、神戸市の施策だけでなく、市民の生活スタイルや経済活動を「withコロナ」の時代に対応したものへと変容させることが求められています。
- ◆ 本戦略の策定により、感染拡大の防止と市民生活・経済活動の維持・回復を両立させていくことを目指します。

戦略の前提となる3段階のフェーズ



国の対処方針の内容、兵庫県知事による外出自粛や休業要請の状況、神戸市における感染状況などを踏まえ、「フェーズ1」「フェーズ2」の中においても、市の施設閉鎖や学校園の休業といった対応を段階的に強化あるいは緩和することも想定される。

フェーズごとの目的や必要な体制



(目標 1)

新型コロナウイルス感染症に対応するための医療救急体制を確保し、感染症による死者数を最小限に抑える

(目標 2)

感染拡大防止に最大限の配慮を行いながら、市民生活・経済活動をできる限り維持・回復する

<対象期間>

フェーズ 3 への移行により、通常体制で上記 2 つの目標が達成されるまでの間

1. 神戸市の施策のあり方を「withコロナ」時代に対応したものへ転換します
2. 「withコロナ」時代に対応した新しい生活様式、経済活動を促進するための取り組みや支援を強化します

(視点)

withコロナの時代において、

変わらないこと	変わること
語り合えること	コミュニケーションのあり方
助け合えること	自助・共助・公助のあり方
働いていく必要があること	ビジネスの手法・ビジネスシーンのあり方